

平成 30 年度 秋期  
IT ストラテジスト試験  
午前 II 問題

試験時間

10:50 ~ 11:30 (40 分)

## 注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。試験時間中は、退室できません。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問 1 ~ 問 25
選択方法	全問必須

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
  - (1) 答案用紙は光学式読取り装置で読み取った上で採点しますので、B 又は HB の黒鉛筆で答案用紙のマークの記入方法のとおりマークしてください。マークの濃度がうすいなど、マークの記入方法のとおり正しくマークされていない場合は、読み取れないことがあります。特にシャープペンシルを使用する際には、マークの濃度に十分ご注意ください。訂正の場合は、あとが残らないように消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
  - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入及びマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおり記入及びマークされていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入及びマークしてください。
  - (3) 解答は、次の例題にならって、解答欄に一つだけマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおりマークされていない場合は、採点されません。

〔例題〕 秋の情報処理技術者試験が実施される月はどれか。

ア 8      イ 9      ウ 10      エ 11

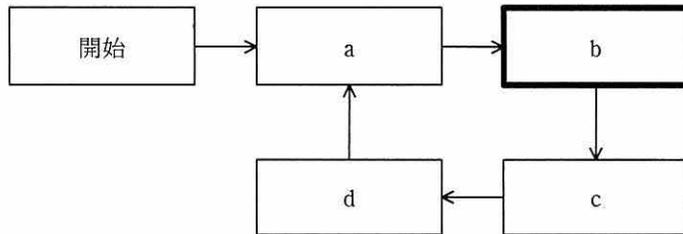
正しい答えは“ウ 10”ですから、次のようにマークしてください。

例題	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input checked="" type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ
----	-------------------------	-------------------------	------------------------------------	-------------------------

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。  
こちら側から裏返して、必ず読んでください。



問1 IDEAL によるプロセス改善の取組みにおいて、図の b に当てはまる説明はどれか。  
ここで、ア～エは a～d のいずれかに対応する。



- ア 解決策を作り，その先行評価・試行・展開を行う。
- イ 改善活動の優先順位を設定し，具体的な改善計画を作成する。
- ウ 活動を分析してその妥当性を確認し，次のサイクルの準備を行う。
- エ 業務の現状を調査して可視化し，改善ポイントを明らかにする。

問2 SOA の説明はどれか。

- ア 会計，人事，製造，購買，在庫管理，販売などの企業の業務プロセスを一元管理することによって，業務の効率化や経営資源の全体最適を図る手法
- イ 企業の業務プロセス，システム化要求などのニーズと，ソフトウェアパッケージの機能性がどれだけ適合し，どれだけかい離しているかを分析する手法
- ウ 業務プロセスの問題点を洗い出して，目標設定，実行，チェック，修正行動のマネジメントサイクルを適用し，継続的な改善を図る手法
- エ 利用者の視点から業務システムの機能を幾つかの独立した部品に分けることによって，業務プロセスとの対応付けや他ソフトウェアとの連携を容易にする手法

問3 ある企業では、顧客データについて、顧客を性別・年齢層・職業・年収など複数の属性を組み合わせてセグメント化し、蓄積された大量の購買履歴データに照らし、商品の購入可能性が最も高いセグメントを予測している。このときに活用される分析手法はどれか。

ア ABC分析

イ SWOT分析

ウ 競合分析

エ 決定木分析

問4 構造化インタビューの手法を用いた意見の収集形態はどれか。

ア 参加者にテーマだけを提示し、そのテーマに対し、意見の収集、要約、配布、再度の意見の収集を繰り返すことで、集約した意見を収集した。

イ 熟練したインタビュアが、議論を一定の方向に絞りながら、会議の参加者の自由な意見を収集した。

ウ 調査項目を全て決めてから、決められた順序で質問することで、インタビュアの技量に左右されない意見を収集した。

エ 批判厳禁、自由奔放、質より量、他人の意見の活用などを基本ルールとして、多様で新たな意見を収集した。

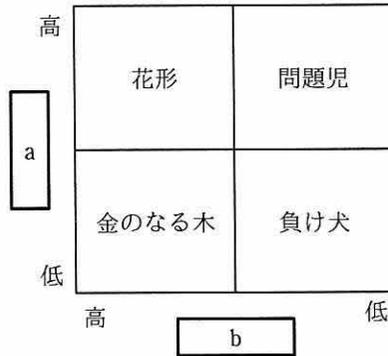
問5 共通フレーム 2013 によれば、要件定義プロセスの活動内容には、利害関係者の識別、要件の識別、要件の評価、要件の合意などがある。このうち要件の識別において実施する作業はどれか。

- ア システムのライフサイクルの全期間を通して、どの工程でどの関係者が参画するのかを明確にする。
- イ 抽出された要件を確認して、矛盾点や曖昧な点をなくし、一貫性がある要件の集合として整理する。
- ウ 矛盾した要件、実現不可能な要件などの問題点に対する解決方法を利害関係者に説明し、合意を得る。
- エ 利害関係者から要件を漏れなく引き出し、制約条件や運用シナリオなどを明らかにする。

問6 多角化戦略のうち、M&A による垂直統合に該当するものはどれか。

- ア 銀行による保険会社の買収・合併
- イ 自動車メーカーによる軽自動車メーカーの買収・合併
- ウ 製鉄メーカーによる鉄鋼石採掘会社の買収・合併
- エ 電機メーカーによる不動産会社の買収・合併

問7 プロダクトポートフォリオマネジメント（PPM）マトリックスの a, b に入れる語句の適切な組合せはどれか。



	a	b
ア	売上高利益率	市場占有率
イ	市場成長率	売上高利益率
ウ	市場成長率	市場占有率
エ	市場占有率	市場成長率

問8 FSP（Frequent Shoppers Program）の説明はどれか。

- ア Web サイトの閲覧者が掲載広告のリンク先である EC サイトで商品を購入した場合、広告主からその Web サイト運営者に成果報酬を支払う仕組みである。
- イ 期間を限定した値引きの販売施策を見直し、コスト削減によるローコストオペレーションを実現させて、恒常的な低価格戦略を展開することである。
- ウ 顧客に会員カードなどを発行して購買情報を収集し、顧客には割引ポイントの付与や会員割引の特典を与えるなど、優良顧客の維持拡大を図る仕組みである。
- エ 顧客の購買行動における、直近購買日、購買頻度、購買金額の 3 要素を用いて、優良顧客のセグメンテーションなどを行う顧客分析手法のことである。

問9 スキミングプライシングの説明はどれか。

- ア 顧客に適切な価格であると認識させ、購買意欲を高める価格を設定する手法
- イ 市場シェアを獲得するために、製品投入の初期段階で低価格を設定する手法
- ウ 先行者利益を獲得するために、製品投入の初期段階で高価格を設定する手法
- エ 同一製品に市場セグメントの特性に合わせて、異なる価格を設定する手法

問10 消費者市場のセグメンテーション変数のうち、人口統計的変数はどれか。

- ア 使用頻度、ロイヤルティ
- イ 都市規模、人口密度
- ウ 年齢、職業
- エ パーソナリティ、ライフスタイル

問11 商品のブランド戦略の一つであるラインエクステンションを説明したものはどれか。

- ア 売上の伸びが鈍くなってきたときなどに、デザインや容量を変更した商品を導入し、ブランド力を高める戦略
- イ 関連分野において知名度の高い他社ブランドと提携し、自社商品のブランド力を高める戦略
- ウ 実績のある商品と同じカテゴリにシリーズ商品を導入し、同一ブランド名での品ぞろえを豊富にする戦略
- エ 消費者の間に浸透し、市場での地位を確立しているブランド名で、現行商品とは異なるカテゴリに参入する戦略

問12 ジェフリー・A・ムーアはキャズム理論において、利用者の行動様式に変化を強い  
るハイテク製品では、イノベータ理論の五つの採用者区分の間に断絶があると主張  
し、その中でも特に乗り越えるのが困難な深く大きな溝を“キャズム”と呼んでい  
る。“キャズム”が存在する場所はどれか。

- ア イノベータとアーリーアダプタの間
- イ アーリーアダプタとアーリーマジョリティの間
- ウ アーリーマジョリティとレイトマジョリティの間
- エ レイトマジョリティとラガードの間

問13 ダブルピン方式の特徴はどれか。

- ア 単価が高く体積が大きい又は需要変動が大きい重点管理品に適する。
- イ 発注間隔が一定で発注量が増減する。
- ウ 発注点と発注量が等しく、都度の在庫調査の必要がない。
- エ 発注点と発注量は調達リードタイムに関係しない。

問14 知識創造プロセス（SECIモデル）において、表出化に該当するものはどれか。

- ア 顧客への対応の仕方を、顧客の業種別にマニュアル化する。
- イ 顧客訪問に新入社員を同行させ、対応の方法を目で見て体得させる。
- ウ 製品操作マニュアルと業務マニュアルから、運用マニュアルを作成する。
- エ マニュアルに記載された方法を実践し、スキルを習得する。

問15 TLO (Technology Licensing Organization) 法に基づき、承認又は認定された事業者の役割として、適切なものはどれか。

- ア 企業からの委託研究、又は共同研究を受け入れる窓口として、企業と大学との調整を行う。
- イ 研究者からの応募に基づき、補助金を支給して先進的な研究を発展させる。
- ウ 大学の研究成果の特許化及び企業への技術移転の支援を行い、産学の仲介役を果たす。
- エ 民間企業が保有する休眠特許を発掘し、他企業にライセンスを供与して活用を図る。

問16 XBRL に関する記述として、適切なものはどれか。

- ア XBRL によって、決算などに伴う集計、法定書類の作成を自動化することを容易にする。
- イ XBRL によって表現される勘定科目体系は、会計基準ごとに固定であり、個別に定義することはできない。
- ウ XBRL は、企業外部向けの財務会計情報の開示に利用できるが、企業内部向けの管理会計情報としては利用できない。
- エ XBRL は、企業の財務諸表の情報を複数企業間において交換するための国際的な EDI 標準である。

問17 TOC の特徴はどれか。

- ア 個々の工程を個別に最適化することによって、生産工程全体を最適化する。
- イ 市場の需要が供給能力を下回っている場合に有効な理論である。
- ウ スループット (=売上高 - 資材費) の増大を最重要視する。
- エ 生産プロセス改善のための総投資額を制約条件として確立された理論である。

問18 ティアダウンの説明はどれか。

- ア 市場の要求である“要求品質”と、提供する側の技術である“技術特性”の2元表を作成し、顧客の要求を満たすための機能を明確にする手法
- イ 整理・整頓することで事故やけがの防止や作業効率の低下を防ぐ活動
- ウ 他社の製品を分解し、分析して自社商品と比較することによって、コストや性能面でより高い競争力をもった製品を開発する手法
- エ 物作りの仕組みの中の無駄を、現場の知恵を出し合って排除する活動

問19 リーダシップのコンティンジェンシー理論の説明はどれか。

- ア 権限行使と命令統制による労務管理を批判し、目標管理制度や経営参加制度などによる動機付けが有効だとしたもの
- イ 恒常的に成果に結び付けることができる個人の行動や思考特性をモデル化し、これを評価や育成の基準にしたもの
- ウ 人間の基本的欲求を低次から、生理的欲求、安全の欲求、所属と愛の欲求、承認の欲求、自己実現の欲求と階層化したもの
- エ 唯一最適な部下の指導・育成のスタイルは存在しない、という考え方に基づいて、リーダーの特性や行動と状況の関係を分析したもの

問20 問題解決に当たって、現実にとらわれることなく理想的なシステムを想定した上で、次に、理想との比較から現状の問題点を洗い出し、具体的な改善案を策定する手法はどれか。

- ア 系統図法
- イ 親和図法
- ウ 線形計画法
- エ ワークデザイン法

問21 X 社では、(1)～(4)に示す算定方式で在庫補充量を決定している。第  $n$  週の週末時点での在庫量を  $B[n]$ 、第  $n$  週の販売量を  $C[n]$  としたとき、第  $n$  週の週末に発注する在庫補充量の算出式はどれか。ここで、 $n$  は3以上とする。

[在庫補充量の算定方式]

- (1) 週末ごとに在庫補充量を算出し、発注を行う。在庫は翌週の月曜日に補充される。
- (2) 在庫補充量は、翌週の販売予測量から現在の在庫量を引き、安全在庫量を加えて算出する。
- (3) 翌週の販売予測量は、先週の販売量と今週の販売量の平均値とする。
- (4) 安全在庫量は、翌週の販売予測量の10%とする。

ア  $(C[n-1]+C[n])/2 \times 1.1 - B[n]$

イ  $(C[n-1]+C[n])/2 \times 1.1 - B[n-1]$

ウ  $(C[n-1]+C[n])/2 + C[n] \times 0.1 - B[n]$

エ  $(C[n-2]+C[n-1])/2 + C[n] \times 0.1 - B[n]$

問22 連結売上高総利益率は何%か。ここで、B社はA社の100%子会社で、仕入れは全て親会社からであり、売上は全て親会社以外である。また、期首、期末とも在庫はない。

A 社損益計算書		B 社損益計算書	
売上高	4,000	売上高	1,000
子会社売上高	800	売上原価	800
売上原価	3,000	売上総利益	200
売上総利益	1,800		

ア 34

イ 38

ウ 40

エ 56

問23 刑法の電子計算機使用詐欺罪に該当する行為はどれか。

- ア いわゆるねずみ講方式による取引形態の Web ページを開設する。
- イ インターネット上に、実際よりも良品と誤認させる商品カタログを掲載し、粗悪な商品を販売する。
- ウ インターネットを經由して銀行のシステムに虚偽の情報を与え、不正な振込や送金をさせる。
- エ 企業の Web ページを不正な手段によって改変し、その企業の信用を傷つける情報を流す。

問24 格納型クロスサイトスクリプティング (Stored XSS 又は Persistent XSS) 攻撃に該当するものはどれか。

- ア Web サイト上の掲示板に攻撃用スクリプトを忍ばせた書込みを攻撃者が行い、その後<sup>に</sup>当該掲示板を閲覧した利用者の Web ブラウザで、攻撃用スクリプトが実行された。
- イ Web ブラウザへの応答を生成する処理に脆弱性のある Web サイトに対して、不正な JavaScript コードを含むリクエストを送信するリンクを攻撃者が用意し、そのリンクを利用者がクリックするように仕向けた。
- ウ 攻撃者が、乗っ取った複数の PC 上でスクリプトを実行して大量のリクエストを攻撃対象の Web サイトに送り付け、サービス不能状態にした。
- エ 攻撃者がスクリプトを使って、送信元 IP アドレスを攻撃対象の Web サイトの IP アドレスに偽装した大量の DNS リクエストを多数の DNS サーバに送信することによって、大量の DNS レスポンスを攻撃対象の Web サイトに送り付けるようにした。

問25 個人情報の漏えいリスクに関するリスク対応のうち，リスク回避に該当するものはどれか。

ア 個人情報の重要性と対策費用を勘案し，あえて対策をとらない。

イ 個人情報の保管場所に外部の者が侵入できないように，入退室をより厳重に管理する。

ウ 個人情報を含む情報資産を外部のデータセンタで保管する。

エ 取得済みの個人情報を消去し，新たな取得を禁止する。

[ メモ用紙 ]

[ × 毛 用 紙 ]

6. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。
7. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。
8. 試験時間中、机の上に置けるものは、次のものに限りです。  
なお、会場での貸出しは行っていません。  
受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬  
これら以外は机の上に置けません。使用もできません。
9. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。
10. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。
11. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。
12. 午後Ⅰの試験開始は **12:30** ですので、**12:10** までに着席してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。

なお、試験問題では、™ 及び ® を明記していません。